

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 2271100923 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム沼津我入道 (1階) | | |
| 所在地 | 静岡県沼津市我入道江川5-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年9月12日 | 評価結果市町村受理日 | 平成27年10月21日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2014_022_kami=true&JigyosyoCd=2271100923-00&PrefCd=22&VersionCd=022 |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 平成27年9月28日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様々のニーズを大切に、御利用者様が認知症を抱えながらもその人らしく生活を送ること出来る様にスタッフはケアをしている。外に出る事を大切に、御利用者様に合わせた散歩のペースや距離、散歩が難しい方へは外気浴の援助。各階は明るい雰囲気の中、各階の色を出し、御利用者様に楽しいと思っていただけるような生活空間の演出を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

来年の2月に105歳を迎える利用者を筆頭に平均82、3歳と皆壮健です。外気浴を大切に考え散歩を慣行するなか、職員の親切な立居振舞や笑顔の挨拶を見続けた近所の人が「私も此処で働けるなら…」と入職を果たした嬉しい事例もあり、また法人が敷いたスタッフ紹介制度に即して4名の採用が実現していて、ここ1年は職員の定着率も上がり落ち着いた運営につながっています。管理者が率直に「職員のおかげで」と感謝の意を表す日頃の謙虚な姿勢が伝わり、ユニットリーダーの勤務年数は総計30年という驚きの数字をたたきだし、3本の矢のごとく盤石のチームワークが実に頼もしい事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 毎朝、朝礼の時などに職員全体で理念を唱和している。職員が使用する場所にも掲示し、常に理念を意識できるようにしている。 | 朝礼は3ユニット全員でおこない、法人理念とともにホーム目標が唱和されています。法人では品質管理に力を入れていて、本部担当に「家族目線で一言」進言してもらえる制度も始まるため、『気づきを築く』への深耕がさらに期待されています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 天気の良い日に歩ける人は散歩に出て、近所の方々に挨拶をするようにしている。地区の花火大会にも積極的に参加している。 | 外気浴を大切に考え散歩を慣行するなか、職員の親切的な立居振舞や笑顔の挨拶を見続けた近所の人が「私も此处で働けるなら…」と、入職した嬉しい事例もあります。防災訓練やお祭りなどの地域行事は職員から利用者に広報して、参画しやすいように配慮しています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 介護相談を常に受け入れるようにしている。地域での取り組みを増やし、地域貢献についても積極的に取り組んでいきたい。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 活動報告や日々の生活など、参加していただいた皆様と話し合いを行い、意見を頂戴してすぐに対応できるようにしている。 | 各階持ち回りで2名の家族が出席し、取引業者のスーパーマーケットもメンバーとなりつつあり、会議を通じて親しくなった民生委員はボランティアにも訪れています。毎月の通信では掲載が限られているため、日々の様子を観ることができるプロジェクターは家族からも悦ばれています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 営業活動として地域に出る時間を作り、市町村の担当者と連携が取れるよう、顔の見える関係づくりに努めている。 | 運営推進会議の案内は届けていますが、開催が土曜日のためか市役所からの出席はありません。ただし地域包括支援センター職員が毎回参加くださり、また事業所でも認知症キャラバンメイト養成講習に出向く準備があり、協力していることの姿勢がみられます。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束についての研修を行っている。意思統一をはかり、入り口のドアの施錠をしないこと、ベッド柵の取り扱いなど、スタッフ同士で注意しあっている。 | 在宅では周囲を困らせる言動があってもアセスメントによる適切な関わりによって緩和した例は多く、現状フィジカルロックや施錠の必要がありません。また、投薬も医師の指導を仰ぎつつ、徐々に減らすことに成功しています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待についての理解をスタッフ全員が深め、怪我や事故防止に今後も務めていきたい。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 全体会議の場で研修を行い、知識を深められるようにしている。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 十分な説明をして、理解や納得を得られるように時間をかけている。意見に耳を傾け、不安な気持ちを持たれないように努力している。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | ケアプランの説明の際、ご意見や要望を聞く機会を作っている。話を傾聴し、速やかに対応が出来る様に努めている。 | 法人アンケートの結果は管理者が提示したうえで改善への進捗を定期で評価し、ユニット会議にて職員意見を都度募っています。8年ぶりに事業所祭りを開催することになり、普段面会のない家族も来訪して利用者、家族、職員とで過ごせるその日が待たれています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 毎月の全体会議で意見・質問や提案を聞く機会を設けている。仕事をしているの不安やわからないことを個人面談として定期的に行っている。 | 「手を抜く人がいない」と管理者が語るほど一所懸命で、成果例の一つとして個別外出が増えハイキングにも出掛けています。職員アンケートは「部下とコミュニケーションがとれているか」も数字で表れるため、上位者が省みて成長する機会となっています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 定期的に職員の評価を行い、課題の共有は個人面談の際に上長と共有できるようにしている。今後の職場環境、条件の整備に努めている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 全体会議で職員研修を行うようにして、外部の方の研修、働きながらもスキルアップ出来る様にしている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 近隣のグループホームの見学を行っている。職員間の研修は今後も課題であると感じている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 職員は担当制を敷いており、スタッフがアセスメントの際にリラックスが出来る様に配慮している。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様からの質問に対しては、丁寧に答えるように努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | その方にあつたサービスが提供出来る様に、様々な角度からの視線を持ち、他職種とサービスの連携を行っている。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 洗濯物干しやおしぼり巻きなど、出来る事を行って頂いている。役割意識が持てるように配慮している。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族様と連絡が密にとれるように、日々の関わり方に注意をして、協力を願うようにしている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 馴染みの方や場所を継続出来る様に面会時等に安心して話せるような場所を確保している。 | 民生委員からの恩恵が大きく、地区の集まりも知ることができていて、少しずつご縁が広がっています。習慣の継続としては、珈琲をポットに入れたものを枕元に置くことや、仏壇の水やりがあります。法事や孫の結婚式へに行く人もいて、求められれば送迎支援もおこなっています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者同士の関係を大切にして、レクリエーションによって皆で過ごす時間を作っている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 手紙などのやりとりを続け、関係性が継続出来る様にしている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居者様の担当者が傾聴し、月1回のユニット会議の場で方針を話す機会を作っている。 | 1名の職員でおおよそ2名の利用者を担当しています。アセスメントの一環として記録する気づきシートは本年認知症ケアを核に改善に取り組んでいます。「楽しみとされていることって何?」という設問には「その人が主役になれるときは」と付け足され、より詳細になりました。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族様にも協力していただき、情報を集めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 介護記録をとり、ご利用者様に応じた声掛けを行い、申し送りの際に情報を共有している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 入居者様・ご家族様に希望を伺い、ユニット会議の際に反映している。 | サービス担当者会議に家族が加わることなく面会等を利用していますが、その際にも「お任せします」と言われるばかりで意見抽出が難しい状況にあります。職員はフロアにあるチェックシートで実践を確実にしていますが、プラン全体への理解度には格差があり、課題を残しています。 | 家族の都合を以て会議開催日を調整できる段階まで向かうことを期待します。また、職員育成についてはミニテストやドリルの導入もご検討ください。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | ユニット会議の際、スタッフが気づきシートを作成し、入居者様のニーズを聞き、共有している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 入居者様がより良い生活が送れるように努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 地域にどのような地域資源があるのか把握に努め、使用できるような地域資源に関しては利用するようにしている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | ホームに入居前の主治医にそのまま診て頂けるようにしていき、ホーム提携医でない場合にも家族に対応してもらっている。その際には情報をしっかりと伝えて場合によっては一緒に同行する時もある。 | 従来からのかかりつけ医へは家族にお願いしていますが、家族に無理がある場合は職員がおこなっています。たまたま協力医にかかっていたという人が1割、5割が協力医に変更しています。看護師の勤務が週2回あり、日常の健康相談がしやすい環境にあります。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 1週間に2回ホームに看護師が来るので、その時の状態を報告し、様子を見て頂いている。ホームにいない時でも電話などで指示が頂ける様になっている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入退院時は情報交換などをしっかりと行い、入院中は何度か病院の方へ行き情報などを聞き出している。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 全体会議などでの勉強会をしている。また家族などには面会時に常に話をするようにしている。 | 協力医は月2回の往診があり、また24時間連絡が取れる体制のため、関係性ができていて意向も伝えやすく安心です。医療方面のちょっとした知識を教えてもらえるのもありがたく、看取りにも協力的です。加算はとっていませんが、家庭のように自然に看取ったケースがあります。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 会議など年に何回か勉強会を行い、フロア一用にも対応マニュアルを作成し、全員が見える場所に置いてある。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | マニュアルを作成し、有事の時に備えた対応ができるようにしている。 | 災害によって各階の訓練方法を替え、1階は津波では3階へと誘導しています。また地域訓練では数名ですが津波の避難場所へ徒歩で向っています。東日本大震災の心理的余波では近所に住む車椅子の人を担当ケママネージャーの口添えから預かったこともあります。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 声掛け、言葉遣いには常に気を付けるようにしている。また、御本人様の意見も大切にしている。 | 新卒職員は法人本部で接遇研修を受けており、中途採用者も事業所内でOJTがおこなわれています。入室では不在であっても必ずノックして「失礼します」と声をかけようと呼びかけ、職員には休憩を1時間しっかりとるようにも指導してストレスケアにも気配りしています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 生活の中での意思決定ができるように支援し、職員が主導とならないように注意している。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 個人のペースを大切にしているが、ホームで皆様のペースもあるので、必ず提供出来ている訳ではない。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 毎日の生活の中で自己決定できる方は出ているも、自分で出来ない方たちには、なるべく選択できるように支援している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 御利用者様と食材切りや食器洗いなど毎日一緒に行っている。また調理レクなど定期的に行っている。 | 法人から届くメニューにて1階で惣菜は調理しますが味噌汁とご飯は各階で手作りするため、食事ときには特有の温もりが全フロアに流れています。エプロン姿も勇ましく陣頭に立つ利用者もいて、職員と見紛うことです。好き嫌いにも応じ、希望食の日にはリクエストも反映しています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食べる量、水分量はチェック表を活用し、様子観察ができるようになっている。また好き嫌いの多い方は捕食も用意している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、御利用者様には口腔ケアの促しを行っている。また2週間に1回は訪問歯科の往診も受けている方もいる。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 利用者様の排泄のペースをスタッフは日頃の関わりの中からつかみ、御利用者様に合わせた排泄介助を手助けしている。 | 3ユニット全体で6名ほど自立の人がおり、他も2人介助までは必要なく、壮健です。「なるべくトイレ」を目標に、新人に負担がかからないためのアドバイスをリーダーや先輩が繰り返しています。フェカレス菌(乳酸菌)を導入し、便秘予防・感染症対策にも余念がありません。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 御本人様の体調に合わせて散歩、運動を行い、チェック表に記入している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 御本人様の体調に合わせて声かけを行い、入浴している。御利用者様一人一人に合わせた入浴介助をしている。 | 「毎日入りたい」という人は現在いませんが要望に応える態勢があり、拒否のある人も翌日にしたり言い方を替えてみたりして週3日は確保できるよう努めています。2階は銭湯気分で富士の湯と命名し、また各階ともにシャンプーや石鹸を疾患や好みに応じて用意しています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 生活のリズムを把握し、その場に応じた休息、安眠を提供している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 御利用者様の薬の変更の際には必ず確認を行い、スタッフ同士にも情報が伝達するように、申し送りを行っている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 御利用者様と積極的に会話をして、その人が出来る役割を引き出せるように努めている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 御利用者様の思いを実施できるよう、周りとの協力しながら支援している。 | 「天気良ければ毎日散歩」の言葉通り、職員に車いすを押してもらい意気揚々とした表情の利用者が玄関を歩き交う場面に遭遇しました。「買い物に行きたい」といった声をあげる人には速やかに実行に移し、全体ではめやすとして月1回は足を延ばした外出を心がけています。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 御利用者様のお小遣いに関しては事務所にて管理を行っている。買い物中に | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話や手紙など、その都度対応を行い、御利用者様の支援が出来る様に努めている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | みんなで楽しく過ごせる空間を作り、季節感のある掲示物を一緒に創作し飾っている。 | 広幅の廊下、ストレッチャーが入るエレベーターと、有事を考えた設計で、朝夕の清掃を以て嫌な臭いもしません。退去者の置き土産の和筆筒、利用者制作の布押し絵、おじゃみが行儀よく並び、釣り好きな人のための雑誌や掲示が見られ、「大切にしてもらえている」ことが視えます。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングなどにソファなどを置き、御利用者様同士で話ができるように努めている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 使い慣れた家具を持ち込んで、頂ける様に声を掛けている。整理整頓を心がけ、御利用者様を使いやすい様に気を配っている。 | 3階には木目調、2階には和紙と、表札もフロア毎に職員が工夫を凝らしています。もともとエアコンと洗面所のための備え付けのため、特色ある持ち込みが実現しており、テレビに寛ぎ椅子、読書用照明にミニ机セット、クローゼットとまるでホテルの一室かのような居室もありました。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 居室・トイレ・リビングなどで過ごしやすいよう、環境に工夫している。 | | |

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 2271100923 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム沼津我入道 (2階) | | |
| 所在地 | 静岡県沼津市我入道江川5-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年9月12日 | 評価結果市町村受理日 | 平成27年10月21日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 x.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=227

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 平成27年9月28日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々のニーズを大切に、御利用者様が認知症を抱えながらもその人らしく生活を送ること出来る様にスタッフはケアをしている。外に出る事を大切に、御利用者様に合わせた散歩のペースや距離、散歩が難しい方へは外気浴の援助。各階は明るい雰囲気の中、各階の色を出し、御利用者様に楽しいと思っていただけるような生活空間の演出を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

来年の2月に105歳を迎える利用者を筆頭に平均82、3歳と皆壮健です。外気浴を大切に考え散歩を慣行するなか、職員の親切な立居振舞や笑顔の挨拶を見続けた近所の人が「私も此処で働けるなら…」と入職を果たした嬉しい事例もあり、また法人が敷いたスタッフ紹介制度に即して4名の採用が実現していて、ここ1年は職員の定着率も上がり落ち着いた運営につながっています。管理者が率直に「職員のおかげで」と感謝の意を表す日頃の謙虚な姿勢が伝わり、ユニットリーダーの勤務年数は総計30年という驚きの数字をたたきだし、3本の矢のごとく盤石のチームワークが実に頼もしい事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 会社全体のものとは別にホーム独自の理念を作成し、朝礼の際に唱和をして共有し、実践できるようにしている。 | 朝礼は3ユニット全員でおこない、法人理念とともにホーム目標が唱和されています。法人では品質管理に力を入れていて、本部担当に「家族目線で一言」進言してもらえる制度も始まるため、『気づきを築く』への深耕がさらに期待されています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 毎日の散歩や外出の際に、地域で出会う方々と積極的に会話をし、地域との繋がりが深まるように努めている。祭りや防災訓練にも一部の利用者様は参加している。 | 外気浴を大切に考え散歩を慣行するなか、職員の親切的な立居振舞や笑顔の挨拶を見続けた近所の方が「私も此处で働けるなら…」と、入職した嬉しい事例もあります。防災訓練やお祭りなどの地域行事は職員から利用者へ広報して、参画しやすいように配慮しています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 運営推進会議の際に、民生委員や自治会長、その他の地域の方へも積極的に声を掛けさせていただき、参加のお願いをしている。運営推進会議以外の地域の方へ向けた新たな方策は今後の課題であると感じている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | プロジェクターを利用したスライドショーはご家族様に好評を得ている。なるべく、ご家族様や地域の方の意見を聞き出せるようにし、サービスの向上を目指している。 | 各階持ち回りで2名の家族が出席し、取引業者のスーパーマーケットもメンバーとなりつつあり、会議を通じて親しくなった民生委員はボランティアにも訪れています。毎月の通信では掲載が限られているため、日々の様子を観ることができるプロジェクターは家族からも悦ばれています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | ホーム責任者が主に窓口となり、連絡を取り合っている。市役所開催の催しものにも、日程を合わせて参加するようにしている。 | 運営推進会議の案内は届けていますが、開催が土曜日のためか市役所からの出席はありません。ただし地域包括支援センター職員が毎回参加くださり、また事業所でも認知症キャラバンメイト養成講習に出向く準備があり、協力していることとの姿勢がみられます。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束0宣言を行い、身体拘束はしていない。知識を深める場として、身体拘束についての講習を行っている。今後も身体拘束については、知識を深められる場を作りたいと思う。 | 在宅では周囲を困らせる言動があってもアセスメントによる適切な関わりによって緩和した例は多く、現状フィジカルロックや施錠の必要がありません。また、投薬も医師の指導を仰ぎつつ、徐々に減らすことに成功しています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 虐待に関しても、全体会議の中で講習を行い、知識の習得に努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 年に1回、全体会議の議題として、スタッフ皆で研修を行い、知識を深められるようにしている。今後も全体会議以外にも積極的に知識を習得できるようにしていきたい。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約を締結する際に、利用契約書・重要事項説明書を用いて、十分な時間を設けて理解や納得をしていただけるように努めている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年に1回、ご家族様向けにアンケートを実施し、意見を聞く機会を作っている。いただいた意見に関しては、会社内で共有し、改善点に関しては改善出来る様にしている。 | 法人アンケートの結果は管理者が提示したうえで改善への進捗を定期で評価し、ユニット会議にて職員意見を都度募っています。8年ぶりに事業所祭りを開催することになり、普段面会のない家族も来訪して利用者、家族、職員とで過ごせるその日が待たれています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員アンケートを実施し、職員の意見や提案を聞く機会を作っている。 | 「手を抜く人がいない」と管理者が語るほど一所懸命で、成果例の一つとして個別外出が増えハイキングにも出掛けています。職員アンケートは「部下とコミュニケーションがとれているか」も数字で表れるため、上位者が省みて成長する機会となっています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 文章や書面を活用し、会社内の伝達事項を職員に理解しやすいような文面で伝達している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 新人研修マニュアルを作成し、少しでも新入職のスタッフが愛の家で働きやすくなるように努めている。マニュアルのみならず、日ごころからのOJTを管理者やリーダーが行っている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 積極的に外に出る機会を作るようにし、ネットワークづくりに努めている。他グループホームと互いのサービス向上を目指し、交流をしていくという話があるので、軌道に乗るようにしていく。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 愛の家独自のアセスメント表と、センター方式の書式を活用して、情報収集出来る様になっている。入居された際にも、アセスメント表を利用して集中的に情報を収集している。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族様と話す時間を十分に設け、サービスを導入する段階で家族様が困っていることや不安に思っていることに耳を傾けている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 現状で御本人様に必要なサービスを探り、最適なサービスを提供できるよう目指している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | ホームでの主役は利用者様という視点がぶれないように、スタッフには伝えている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 入居されてからも、ご家族様とのコミュニケーションの場を常に設けるようにして、ご家族様のニーズというものをサービスの中に落とし込めるようにしていく。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 入居の際に、センター方式の書面を活用し、御入居者様が今までのような生活を送られて来たのか情報を収集し、馴染みの人や場所との関係が途切れないように努めている。 | 民生委員からの恩恵が大きく、地区の集まりも知ることができていて、少しずつご縁が広がっています。習慣の継続としては、珈琲をポットに入れたものを枕元に置くことや、仏壇の水やりがあります。法事や孫の結婚式へと行く人もいて、求められれば送迎支援もおこなっています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | ご利用者様の訴えに耳を傾け、他者との人間関係にストレスを感じないように、スタッフが間に入り対応している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 必要に応じて対応・相談している。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | その人らしい生活が送れるように、日々の関わりの中から思いや暮らし方、意向を聞けるようにし、訴えがあった時には記録として残し、各スタッフが共有している。 | 1名の職員でおおよそ2名の利用者を担当しています。アセスメントの一環として記録する気づきシートは本年認知症ケアを核に改善に取り組んでいます。「楽しみとされていることって何?」という設問には「その人が主役になれるときは」と付け足され、より詳細になりました。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入居時にセンター方式の用紙をご家族様に記入していただいたり、入居されてからも、情報を集められるように、ご家族様や御本人様と積極的にコミュニケーションをとるようにしている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日報に一人一人の記録を記入する欄を設け、少しでも情報を細やかに収集できるように努めている。朝礼にも時間を割き、情報の共有に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ホーム内でサービスが完結しないように、社会資源にも目を向け、多角的にサービスの運用が出来るようにする。社会資源の情報収集も積極的に行う。 | サービス担当者会議に家族が加わることなく面会等を利用していますが、その際にも「お任せします」と言われるばかりで意見抽出が難しい状況にあります。職員はフロアにあるチェックシートで実践を確実にしていますが、プラン全体への理解度には格差があり、課題を残しています。 | 家族の都合を以て会議開催日を調整できる段階まで向かうことを期待します。また、職員育成についてはミニテストやドリルの導入もご検討ください。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日報に全員の記入欄を作成し、情報を少しでも多く集められるようにしている。毎日の実践や、3か月に1回の介護計画の見直しに活かしている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ホームでの生活が主となっているが、その時々利用者様のニーズに応えられるように、地域資源の活用も視野に入れている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 個人の散歩や買い物などの際にも地域資源は活用しているが、地域の社会資源も多様化しているので、情報の収集に努め、今後は活用できるようにしていきたい。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居したからといって、ホームの提携医への変更は無理に勧めていない。以前からのかかりつけ医の希望が聞かれる事があるので、そのような場合には、変更しないで、入居してからも受診出来る様に支援している。 | 従来からのかかりつけ医へは家族にお願いしていますが、家族に無理がある場合は職員がおこなっています。たまたま協力医にかかっていたという人が1割、5割が協力医に変更しています。看護師の勤務が週2回あり、日常の健康相談がしやすい環境にあります。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護師との看護ノートを作成し、情報共有の漏れが起こらないようにしている。出勤時にも連携を密にして、適切に看護を受けられるようにしている。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 定期的に病院を訪問し、情報の共有が出来る様にしている。入院をした際にも、御家族様の希望や病院側との退院調整など、関係づくりに努めている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居契約の際に、重度化した場合の指針を説明させていただき、入居の際の方針を伺っている。体調に変化がある際に、時間を作っていただき、方針に変更はないかを伺う様にしている。 | 協力医は月2回の往診があり、また24時間連絡が取れる体制のため、関係性ができていて意向も伝えやすく安心です。医療方面のちょっとした知識を教えてもらえるのもありがたく、看取りにも協力的です。加算はとっていませんが、家庭のように自然に看取ったケースがあります。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 全体研修の場で、専門職による、急変時の対応は全職員が学習している。マニュアルはあり、中途採用の方へは入職の際に説明をしているが、全スタッフへも周知していくのが今後の課題であると思う。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 年2回の防災訓練は必ず行っている。しかし、地域の方の防災訓練への参加がなくなっているため、今後の課題であると感じる。 | 災害の種類で各階の訓練方法を替えており、2階は津波では3階へ、火災は1階へと誘導しています。行政からは「風水害に特化したものやBCPのマニュアルをつくってください」と指示があり、市内のケマネージャー間でも机上訓練をおこなっていて、管理者も一緒に学んでいます。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 一人ひとりのプライバシーに配慮した声掛けに努めている。 | 新卒職員は法人本部で接遇研修を受けており、中途採用者も事業所内でOJTがおこなわれています。入室では不在であっても必ずノックして「失礼します」と声をかけようと呼びかけ、職員には休憩を1時間しっかりとるようにも指導してストレスケアにも気配りしています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 日頃利用者様とコミュニケーションを図っていく中で、思いや希望を聞き出せるようにしている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 入居してからも自宅での生活が継続して行えるように、入居の際に、センター方式の書式を活用して、御家族様に御協力して頂ける方のみ、入居までの生活歴を記入していただいている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | その人らしい身だしなみが全員出来ているとは思わないが、意思を聞き、対応している。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事を楽しみにされている方が多いので、楽しい雰囲気づくりに努めている。食事の準備や片付けなど、出来る範囲で行えるようにしている。 | 法人から届くメニューにて1階で惣菜は調理しますが味噌汁とご飯は各階で手作りするため、食事ときには特有の温もりが全フロアに流れています。エプロン姿も勇ましく陣頭に立つ利用者もいて、職員と見紛うことです。好き嫌いにも応じ、希望食の日にはリクエストも反映しています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 毎月のチェック表を活用して、食事量や水分量を記入している。摂取量が少ない方には、個別で補食を用意し、対応している。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 口腔ケアは毎食後に行っている。訪問歯科も来ていただき、口腔内の清潔や口腔体操など、口腔ケアの重要性に重きを置いている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 個人個人の排泄のパターンを把握して、その人に合わせた排泄介助を行えるようにしている。トイレのチェック表も活用している。 | 3ユニット全体で6名ほど自立の人がおり、他も2人介助までは必要なく、壮健です。「なるべくトイレで」を目標に、新人に負担がかからないためのアドバイスをリーダーや先輩が繰り返しています。フェカレス菌(乳酸菌)を導入し、便秘予防・感染症対策にも余念がありません。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 安易に下剤をしないように、食事面や水分量・運動の機会など、生活の見直しもやっている。会社からフェカリス菌という乳酸菌も提供されているので、御利用者様の様子を見ながら使用している。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 入浴前に血圧・熱を測定し、入浴が出来るか判断している。その人に合わせた入浴時間の提供までは至っていないが、夜間浴などの希望が聞かれている御利用者様は現在いない。 | 「毎日入りたい」という人は現在いませんが要望に応える態勢があり、拒否のある人も翌日にしたり言い方を替えてみたりして週3日は確保できるよう努めています。2階は銭湯気分で富士の湯と命名し、また各階ともにシャンプーや石鹸を疾患や好みに応じて用意しています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜間生活も画一的にならないように、その人に合わせた夜間生活が送れるように努めている。入床の時間も人それぞれに異なっている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 受診などで薬が増減した際には、受診報告書を記入し、スタッフ間で情報の共有に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 生活リハビリを中心として、残存機能を活用できるような役割作りをしている。出来ない箇所をスタッフが支えることで継続して出来るようにしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望に沿った外出の支援が行えるように、日ごろの関わりの中からニーズを聞くようにしている。 | 「天気が良ければ毎日散歩」の言葉通り、職員に車いすを押してもらい意気揚々とした表情の利用者が玄関を行き交う場面に遭遇しました。「買い物に行きたい」といった声をあげる人には速やかに実行に移し、全体ではめやすとして月1回は足を延ばした外出を心がけています。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ホーム内の金庫で責任を持って管理をさせてもらっている。御本人様ที่ใช้したいという時には、そこから支出している。少額で、御本人様が希望をするなら、所持も可能である。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 御本人様の希望に沿って、携帯電話の使用をされている方もいる。手紙のやり取りに関しては、希望がある方のみ行っている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節感を感じられるような装飾を目指している。利用者様が生活していく中で落ち着けるような雰囲気づくりをするように努めている。 | 広幅の廊下、ストレッチャーが入るエレベーターと、有事を考えた設計で、朝夕の清掃を以て嫌な臭いもしません。退去者の置き土産の和筆筒、利用者制作の布押し絵、おじゃみが行儀よく並び、釣りが好きな人のための雑誌や掲示が見られ、「大切にしてもらえている」ことが視えます。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 気の合ったご利用者様同士と一緒に過ごす時間を作れるようにしている。一人になれるということになると、演出が出来ていないと思われる。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居の際に自宅で思い入れのあるものを持参していただき、新しい環境の中でも居心地がよくなるような演出を目指している。 | 3階には木目調、2階には和紙と、表札もフロア毎に職員が工夫を凝らしています。もともとエアコンと洗面所のための備え付けのため、特色ある持ち込みが実現しており、テレビに寛ぎ椅子、読書用照明にミニ机セット、クローゼットとまるでホテルの一室かのような居室もありました。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 御利用者様の中には第三者から見て危険に思っている、自分は大丈夫という認識のずれを感じられる方がいるので、安全に暮らせるように、スタッフが注意している。 | | |

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 2271100923 | | |
| 法人名 | メディカル・ケア・サービス株式会社 | | |
| 事業所名 | 愛の家グループホーム沼津我入道 (3階) | | |
| 所在地 | 静岡県沼津市我入道江川5-1 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年9月12日 | 評価結果市町村受理日 | 平成27年10月21日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 x.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=227

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 株式会社第三者評価機構 | | |
| 所在地 | 静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A | | |
| 訪問調査日 | 平成27年9月28日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様個々のニーズを大切に、御利用者様が認知症を抱えながらもその人らしく生活を送ること出来る様にスタッフはケアをしている。外に出る事を大切に、御利用者様に合わせた散歩のペースや距離、散歩が難しい方へは外気浴の援助。各階は明るい雰囲気の中、各階の色を出し、御利用者様に楽しいと思っただけのような生活空間の演出を目指している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

来年の2月に105歳を迎える利用者を筆頭に平均82、3歳と皆壮健です。外気浴を大切に考え散歩を慣行するなか、職員の親切な立居振舞や笑顔の挨拶を見続けた近所の人が「私も此処で働けるなら…」と入職を果たした嬉しい事例もあり、また法人が敷いたスタッフ紹介制度に即して4名の採用が実現していて、ここ1年は職員の定着率も上がり落ち着いた運営につながっています。管理者が率直に「職員のおかげで」と感謝の意を表す日頃の謙虚な姿勢が伝わり、ユニットリーダーの勤務年数は総計30年という驚きの数字をたたきだし、3本の矢のごとく盤石のチームワークが実に頼もしい事業所です。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|--|---|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-------------------|-----|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I.理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 当社においての理念があり、朝礼で管理者、職員と共に唱和をし共有した上で実践に繋げるようにしている。 | 朝礼は3ユニット全員でおこない、法人理念とともにホーム目標が唱和されています。法人では品質管理に力を入れていて、本部担当に「家族目線で一言」進言してもらえる制度も始まるため、『気づきを築く』への深耕がさらに期待されています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している | 利用者が地域とのつながりが持てるよう、会合に参加したり、祭り、買い物・散歩時などで交流を持てる時間を作っている。 | 外気浴を大切に考え散歩を慣行するなか、職員の親切的な立居振舞や笑顔の挨拶を見続けた近所の人が「私も此处で働けるなら…」と、入職した嬉しい事例もあります。防災訓練やお祭りなどの地域行事は職員から利用者に広報して、参画しやすいように配慮しています。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 2カ月に1回の運営推進会議や地域の会合に参加し、認知症の人の理解や支援方法を地域の人たちに向け話し、生かそうとしている。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 地域や家族へ報告、又話し合い、その際に出た意見を聞き、日々向上に活かせるようにしている。 | 各階持ち回りで2名の家族が出席し、取引業者のスーパーマーケットもメンバーとなりつつあり、会議を通じて親しくなった民生委員はボランティアにも訪れています。毎月の通信では掲載が限られているため、日々の様子を観ることができるプロジェクターは家族からも悦ばれています。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 介護相談員の受け入れにより、客観的な意見を頂ける様に努めている。 | 運営推進会議の案内は届けていますが、開催が土曜日のためか市役所からの出席はありません。ただし地域包括支援センター職員が毎回参加くださり、また事業所でも認知症キャラバンメイト養成講習に出向く準備があり、協力していることとの姿勢がみられます。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 拘束については、職員にも会議等で話す機会を設け、正しく理解してもらえるよう努めている。又、そのケアに取り組んでいる。 | 在宅では周囲を困らせる言動があってもアセスメントによる適切な関わりによって緩和した例は多く、現状フィジカルロックや施錠の必要がありません。また、投薬も医師の指導を仰ぎつつ、徐々に減らすことに成功しています。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 全体会議、又ユニット会議の中で学ぶ機会をもち、虐待が起きないように防止も含め注意している。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 全体会議の中で時間を設け、学ぶ機会はつくってはいるが、内容が難しく、全員への理解には至っていない状態である。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | ホーム責任者であるホーム長が中心となり、必要な時間を設け説明、理解、納得を図っている。それ以外にも疑問に対しては答えている。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 運営推進会議の場や、年に1度御家族様アンケートを行い、意見、要望を聞き、運営に反映するように努めている。 | 法人アンケートの結果は管理者が提示したうえで改善への進捗を定期で評価し、ユニット会議にて職員意見を都度募っています。8年ぶりに事業所祭りを開催することになり、普段面会のない家族も来訪して利用者、家族、職員とで過ごせるその日が待たれています。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員アンケートの機会を設け、意見や提案を聞く機会を設け、反映に努めている。 | 「手を抜く人がいない」と管理者が語るほど一所懸命で、成果例の一つとして個別外出が増えハイキングにも出掛けています。職員アンケートは「部下とコミュニケーションがとれているか」も数字で表れるため、上位者が省みて成長する機会となっています。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 職員が向上心を持って働けるように、努め、年1回、スタッフのアンケートも実施している。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 内・外部からの研修においては、その人その人にあったものに参加の声掛けをし、働きながらも学べる環境を整えている。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム連絡会議への参加、いろいろな意見交換をしたりと、サービスの質の向上が出来る様に努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | できるだけ関わる時間をもち、御本人様が困っている事、不安な事の要望を聞き、安心して頂ける様関係作りに努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 管理者の方からその前から尋ねられる時期を設けている。また入居されてからも、要望などが言えるように努めている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 御本人様と御家族様と入居前に話し合い、何を必要としているか聞き、ケアプランに組み込み、計画を作成し共有している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 関わりを大切にして、出来る事は行って頂くと共に生活をし、支えていく関係に努めている。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 毎月家族に送っているその方の通信又面会の時間を大切にしながら本人を支えていく関係に努めている。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 御家族様にも協力をして頂き、関係性が途切れないようにしている。 | 民生委員からの恩恵が大きく、地区の集まりも知ることができていて、少しずつご縁が広がっています。習慣の継続としては、珈琲をポットに入れたものを枕元に置くことや、仏壇の水やりがあります。法事や孫の結婚式へに行く人もいて、求められれば送迎支援もおこなっています。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 同じフロアだけではなく、他のフロアの御利用者様とも関係なく関わり合い支え合えるように努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービスの利用が終了しても、必要に応じて相談の支援ができる様努めている。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 御本人様・御家族様と話し、希望・意向の把握に努めている。困難な場合には御家族様と検討に努めている。 | 1名の職員でおおよそ2名の利用者を担当しています。アセスメントの一環として記録する気づきシートは本年認知症ケアを核に改善に取り組んでいます。「楽しみとされていることって何?」という設問には「その人が主役になれるときは」と付け足され、より詳細になりました。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 御本人様に聞いたり、御家族様にも協力して頂き、把握に努めている。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 日々関わりを持ち、観察、記録し現状の把握に努めている。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 必要な関係者と話し合い現状に即した介護計画を作成している。 | サービス担当者会議に家族が加わることなく面会等を利用していますが、その際にも「お任せします」と言われるばかりで意見抽出が難しい状況にあります。職員はフロアにあるチェックシートで実践を確実にしていますが、プラン全体への理解度には格差があり、課題を残しています。 | 家族の都合を以て会議開催日を調整できる段階まで向かうことを期待します。また、職員育成についてはミニテストやドリルの導入もご検討ください。 |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 日々の個別記録でも職員間で共有しながら情報を取り入れ、介護計画の見直しに努めている。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | その時々々のニーズに対応できる柔軟なサービスを取り組めるように努めている。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 現在ある地域資源の把握に努め、安心で豊かな暮らしを楽しむ支援に努めている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 御本人・御家族様の希望、要望を確認した上で適切な医療を受けられるよう支援している。 | 従来からのかかりつけ医へは家族にお願いしていますが、家族に無理がある場合は職員がおこなっています。たまたま協力医にかかっていたという人が1割、5割が協力医に変更しています。看護師の勤務が週2回あり、日常の健康相談がしやすい環境にあります。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 御利用者様の変化・気づきを伝え、相談し、適切な対応ができるように支援している。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | できるだけ細かな情報を伝え、安心して治療を受けられるように努めている。又早期に退院できるように病院関係者との関係作りをしている。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時に説明をしているが、それ以外にも必要時には対応できるようにしている。 | 協力医は月2回の往診があり、また24時間連絡が取れる体制のため、関係性ができていて意向も伝えやすく安心です。医療方面のちょっとした知識を教えてもらえるのもありがたい、看取りにも協力的です。加算はとっていませんが、家庭のように自然に看取ったケースがあります。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 全体会議などで定期的な訓練を行っている。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 定期的な訓練を行っている。 | 災害の種類で各階の訓練方法を替えており、3階は火災では1階へと誘導しています。また市内のケマネージャー間でも机上訓練をおこない、管理者も一緒に学んでいます。3階には防災備蓄庫があり3日分用意していますが、今後は水は1週間へと増やそうとしています。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 御利用者様の人格、誇り、プライバシーを損ねない言葉かけをしている。 | 新卒職員は法人本部で接遇研修を受けており、中途採用者も事業所内でOJTがおこなわれています。入室では不在であっても必ずノックして「失礼します」と声をかけようと呼びかけ、職員には休憩を1時間しっかりとるようにも指導してストレスケアにも気配りしています。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 本人が何をしたいのか、希望を聞いたり、決定できるように働きかけに努めている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 御利用者様の一人一人のペースや思いを大切に、希望に沿えるように努めている。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 御本人様の希望、要望に合わせ支援に努めている。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の時間を大切にして、御利用者様と一緒に出来る様それぞれに出来る事をみつけ支援している。 | 法人から届くメニューにて1階で惣菜は調理しますが味噌汁とご飯は各階で手作りするため、食事ときには特有の温もりが全フロアに流れています。エプロン姿も勇ましく陣頭に立つ利用者もいて、職員と見紛うことです。好き嫌いにも応じ、希望食の日にはリクエストも反映しています。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 日々のチェック表を通して確認が出来る様にしている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後に口腔ケアを行うと共に、訪問歯科を受けている御利用者様がいる。 | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 入居前の情報を参考にしたり、入居してからでも排泄パターン、習慣を生かし、自立に向けた支援を目指している。 | 3ユニット全体で6名ほど自立の人がおり、他も2人介助までは必要なく、壮健です。「なるべくトイレ」を目標に、新人に負担がかからないためのアドバイスをリーダーや先輩が繰り返しています。フェカレス菌(乳酸菌)を導入し、便秘予防・感染症対策にも余念がありません。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 乳製品の取り入れや運動、水分量にも気を付け予防に取り組んでいる。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 時間帯を決めてしまっているが、中でも希望やタイミングに合わせ、入浴を楽しんで頂ける様に努めている。 | 「毎日入りたい」という人は現在いませんが要望に応える態勢があり、拒否のある人も翌日にしたり言い方を替えてみたりして週3日は確保できるよう努めています。2階は銭湯気分で富士の湯と命名し、また各階ともにシャンプーや石鹸を疾患や好みに応じて用意しています。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 一人ひとりが安心してその人らしく生活して安心してよく眠れるような支援に努めている。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 全員の把握は十分できていないが、そのようなことがすぐわかるように個人ファイルに薬の説明書を挟んでいる。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 一人ひとりとの関わり、その人らしく生活して頂くために支援できるようにしている。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 希望が聞かれる時には対応できるようにしている。希望がなくても気分転換も兼ね家族と相談して出かけられるように支援している。 | 「天気が良ければ毎日散歩」の言葉通り、職員に車いすを押してもらい意気揚々とした表情の利用者が玄関を行き交う場面に遭遇しました。「買い物に行きたい」といった声をあげる人には速やかに実行に移し、全体ではめやすとして月1回は足を延ばした外出を心がけています。 | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 御本人様・御家族様と相談して対応している。基本はお金は事務所で管理し、使う時には本人に渡したりしている。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 御本人様・御家族様から希望があれば対応できるようにしている。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 生活環境で居心地やよい生活が提供できるように努めている。 | 広幅の廊下、ストレッチャーが入るエレベーターと、有事を考えた設計で、朝夕の清掃を以て嫌な臭いもしません。退去者の置き土産の和筆筒、利用者制作の布押し絵、おじゃみが行儀よく並び、釣り好きな人のための雑誌や掲示が見られ、「大切にしてもらえている」ことが視えます。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | その時々にあった状態に配慮し、思い思いに過ごせるように声をかけたり、居場所の工夫をしている。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 御本人様の負担にならない程度に御家族様とも相談をしながら行っている。 | 3階には木目調、2階には和紙と、表札もフロア毎に職員が工夫を凝らしています。もともとエアコンと洗面所のための備え付けのため、特色ある持ち込みが実現しており、テレビに寛ぎ椅子、読書用照明にミニ机セット、クローゼットとまるでホテルの一室かのような居室もありました。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 一人ひとりの事を活かしていけるように見守りを行い、自立した生活を送って頂ける様に支援をしている。 | | |